

小学4年の地理
いろいろな工業(1)

月	名前	
日		点

- ① 鉄鋼はかつて□とよばれ、日本の工業の中心的な役割をはたしていた。
- ② プラスチックは鉄などの金属にくらべ、傷がつき（やすく・にくく）熱に（強い・弱い）ですが、とても（重く・軽く）加工（しやすい・しにくい）ためいろいろな製品に使われています。
- ③ □はコンピュータをはじめ、さまざまな製品に使われている電子部品です。鉄に代わって□とよばれるようになりました。
- ④ 鉄の原料となる□は、日本国内で（とれる・とれない）ため、外国からの輸入にたよって（います・いません）。
- ⑤ アルミの原料になる□は、日本国内で（とれる・とれない）ため、外国からの輸入にたよって（います・いません）。
- ⑥ セメントの原料になる□は、日本国内で（とれる・とれない）ため、外国からの輸入にたよって（います・いません）。
- ⑦ プラスチックの原料になる□は、ほとんど（輸入・輸出）にたよっています。日本では□や□（都道府県）でわずかに産出されます。
- ⑧ 木材を細かくくだいたものを□といい、□を作る材料になります。
- ⑨ ビデオカメラ・カラーテレビ・パソコン・ルームエアコン・乗用車を、持っている家庭の割合が高い順に並べなさい。
- ⑩ この4つのマークの名前を左から順に答えなさい。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	
⑩	
⑪	
⑫	



- ⑪ 工業は大きくて重いものや複雑なものをつくったり、化学反応を利用して製品をつくる□と、そのほかのひかめく軽く小さなものをつくる□に大きく分けられます。
- ⑫ 工業は大きくて重いものや複雑なものをつくったり、化学反応を利用して製品をつくる□工業は、□工業や□工業のようにいろいろな「材料をつくる」工業と、□工業のように「部品を組み立てて製品をつくる」工業があります。

小学4年の地理
いろいろな工業(1)【解答】

月	名前	点
日		

- ① 鉄鋼はかつて□とよばれ、日本の工業の中心やくわり的な役割をはたしていた。
- ② プラスチックは鉄などの金属きんぞくにくらべ、傷きずがつき（やすく・にくく）熱ねつに（強い・弱い）ですが、とても（重く・軽く）加工かこう（しやすい・しにくい）ためいろいろな製品せいひんに使われています。
- ③ □はコンピュータをはじめ、さまざまな製品せいひんに使われている電子部品でんしぶひんです。鉄に代かわって□とよばれるようになりました。
- ④ 鉄の原料げんりょうとなる□は、日本国内で（とれる・とれない）ため、外国からの輸入ゆにゅうにたよって（います・いません）。
- ⑤ アルミの原料になる□は、日本国内で（とれる・とれない）ため、外国からの輸入ゆにゅうにたよって（います・いません）。
- ⑥ セメントの原料になる□は、日本国内で（とれる・とれない）ため、外国からの輸入ゆにゅうにたよって（います・いません）。
- ⑦ プラスチックの原料になる□は、ほとんど（輸入・輸出）にたよっています。日本では□や□（都道府県）でわずかに産出さんしゅつされます。
- ⑧ 木材もくざいを細かくくだいたものを□といい、□を作る材料になります。
- ⑨ ビデオカメラ・カラーテレビ・パソコン・ルームエアコン・乗用車じょうようしゃを、持っている家庭の割合じゆんが高い順じゆんに並べなさい。
- ⑩ この4つのマークの名前を左から順に答えなさい。

①	産業 <small>さんぎょう</small> のコメ
②	やすく、弱い、軽く、しやすい
③	IC（集積回路 <small>しゅうせきかいろう</small> ）、産業のコメ
④	鉄鉱石、とれない、います
⑤	ボーキサイト、とれない、います
⑥	石灰石 <small>せっかいせき</small> 、とれる、いません
⑦	石油、輸入、新潟、北海道
⑧	チップ、紙
⑨	カラーテレビ、ルームエアコン、パソコン、乗用車、ビデオカメラ（2020年）
⑩	ジスマーク、エコマーク、ウールマーク、グリーンマーク
⑪	重化学工業 <small>じゅうかがくこうぎょう</small> 、軽工業 <small>けい</small>
⑫	重化学、金属、化学、機械

ほかに秋田県でも産出される。



日本産業規格を満たしている製品に付けられる。電池・ノート・蛍光灯・コンセント・ガラスなど。



ウール製品に付けられる。ウールとは羊毛のこと。羊毛とは羊の毛。



古紙を一定以上の割合使用している製品に付けられる。

- ⑪ 工業は大きくて重いものや複雑ふくざつなものをつくったり、化学反応を利用して製品をつくる□と、そのほかのひかひかの軽く小さなものをつくる□に大きく分けられます。
- ⑫ 工業は大きくて重いものや複雑ふくざつなものをつくったり、化学反応を利用して製品をつくる□工業は、□工業や□工業のようにいろいろな「材料をつくる」工業と、□工業のように「部品を組み立てて製品をつくる」工業があります。

小学4年の地理
いろいろな工業(2)

月		点
日	名前	

- ① ひかく的軽く小さなものをつくる軽工業は、工業、工業、工業、工業など「衣・食・住」と直接関係の深いものが増えています。
- ② 合成ゴムを作るのは工業、時計を作るのは工業の中の工業、ICを作るのは工業の中の工業、陶磁器やガラスを作るのは工業です。
- ③ テレビを作るのは工業、鉄鋼は工業、茶わんは工業、かんづめは工業です。
- ④ 鉄は主にととから作られます。工場では原料をに入れ、2000℃の高温でとかし、を作ります。それをに入れてよぶんな成分を取りのぞき、ローラーで伸ばして、完成です。
- ⑤ プラスチックを作るには、に熱を加え、いろいろな液体に分けを作り、それに熱を加えて米つぶ状のをつくります。
- ⑥ 昔の日本（1920年～1950年くらい）では工業が工業の中心であり、その中でも特に工業の割合が高かった。現在は工業が工業の中心であり、その中でも特に工業の割合が高い。
- ⑦ 1950～60年代に日本は重化学工業の中の工業が発展し、また工業では世界一になりました。しかし1970年代のにより伸び悩みようになりました。1980年代には工業が発展し、世界一の生産台数をほこるようになりました。また1990年代にはさまざまな機械製品に組みこまれるの生産がのび、鉄に代わりと呼ばれるようになりました。
- ⑧ 生産の仕組みはうつり変わっています。①江戸時代の中頃はによって職人が自分の家で作る → ②工場に集まりによって手分けして作業する → ③にのせられ流れてきたものに人々が部品を取り付ける方法をという → ④人の代わりにが自動的に部品を取り付けていく方法をという。
- ⑨ 自然環境が汚されたりこわされたりすることで、人の健康や生活に害が生ずることをという。その例として・・・・・などがある。

①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	
⑧	
⑨	

小学4年の地理
いろいろな工業(2)【解答】

月	名前	
日		点

- ① ひかたく軽く小さなものをつくる軽工業は、□工業、□工業、□工業、□工業など「衣・食・住」と直接関係の深いものが多くなっています。
- ② 合成ゴムを作るのは□工業、時計を作るのは□工業の中の□工業、ICを作るのは□工業の中の□工業、陶磁器やガラスを作るのは□工業です。
- ③ テレビを作るのは□工業、鉄鋼は□工業、茶わんは□工業、かんづめは□工業です。
- ④ 鉄は主に□と□と□から作られます。工場では原料を□に入れ、2000°Cの高温でとかし、□を作ります。それを□に入れてよぶんな成分を取りのぞき、ローラーで伸ばして、完成です。
- ⑤ プラスチックを作るには、□に熱を加え、いろいろな液体に分け□を作り、それに熱を加えて米つぶ状の□をつくります。
- ⑥ 昔の日本（1920年～1950年くらい）では□工業が工業の中心であり、その中でも特に□工業の割合が高かった。現在は□工業が工業の中心であり、その中でも特に□工業の割合が高い。戦（太平洋戦争）から復興していくころです。
- ⑦ 1950～60年代に日本は重化学工業の中の□工業が発展し、また□工業では世界一になりました。しかし1970年代の□により伸び悩むようになりました。1980年代には□工業が発展し、世界一の生産台数をほこるようになりました。また1990年代にはさまざまな機械製品に組みこまれる□の生産がのび、鉄に代わり□と呼ばれるようになりました。
- ⑧ 生産の仕組みはうつり変わっています。①□によって職人が自分の家で作る（江戸時代の中頃）→②工場に集まり□によって手分けして作業する（江戸時代の終わり頃）→③□にのせられ流れてきたものに人々が部品を取り付ける方法を□という（昭和から現在）→④人の代わりに□が自動的に部品を取り付けていく方法を□という（現在の大きな工場）。
- ⑨ 自然環境が汚されたりこわされたりすることで、人の健康や生活に害が生ずることを□という。その例として□・□・□・□・□・□などがある。

①	食料品、せんい、製紙・パルプ、よう
②	化学、機械、精密機械、機械、電子、よう
③	機械、金属、よう、食料品
④	鉄鉱石、石炭（コークス）、石灰石、高炉、銑鉄、転炉
⑤	石油、ナフサ、ペレット
⑥	軽、せんい、重化学、機械
⑦	鉄鋼（製鉄）、造船、オイルショック（石油危機）、自動車、IC、産業のコメ
⑧	手作り、分業、ベルトコンベア、流れ作業、産業用ロボット、オートメーション
⑨	公害、水質汚濁（よごれた水）、空気汚染（よごれた空気）、騒音、振動、地盤沈下

製紙・パルプ工業の一つです。

食べ物の入ったかんづめは食料品工業、かんづめのかんだけなら金属工業です。

銑鉄は鉄鉱石を溶かした鉄で、炭素が多く含まれています。鋼鉄よりもやわらかい。

原油を温めると色々な油に分けることができます。その一つがナフサです。石油化学製品はそのナフサから作ります。

第二次世界大戦（太平洋戦争）から復興していくころです。

オイルショックは1973年と、1978年です。

順番や言葉がちがっても、意味があてればオーケー。

騒音は工場などの音がうるさいこと。振動は工場の周りの家が揺れること。地盤沈下は地下水をくみ上げすぎて地面が沈んでしまうこと。